



発行所
〒924-8544 石川県白山市三浦町500の1
石川県立翠星高等学校内
六星同窓会
印刷
能登印刷

食料自給率を考える

六星同窓会
会長

大藏 捷直

同窓会会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日ごろより母校の

発展並びに同窓会活動に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

コロナ禍での翠星高校、この一年

校長

鷲 澤 勝

同窓会員の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。日本のみならず世界全体がコロナに始まりコロナで終わろうとしているこの一年の、翠星高校の様子を報告させていただきます。

校長着任二年目となる今年四月、昨年度末三月の一斉臨時休業があげ、やつと学校再開ができる準備をしておいたところ、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、四月七日に国の「緊急事態宣言」が発令され、四月八日の始業式・入学式の後、再度の臨時休業となる決定がなされました。当初予定では五月連休明けからの学校再開の予定でしたが、国の緊急事態宣言延長を受け、五月末までの臨時休

業延長となりました。五月二十日かららの分散登校を経て、六月一日から完全学校再開となりましたが、二ヶ月にわたる臨時休業中の教育課程回復と新型コロナウイルス感染拡大防止のため、今年度の各種行事について大幅な見直しが必要となりました。夏季休業についても、本校では八月一日から八月二十四日までと短縮することになりました。例年行われていた夏の全国高校野球甲子園大会や全国高校総体・総文が中止となり、その予選となる県大会や県総体・総文も軒並み中止。また、農業クラブ全国大会静岡大会も中止となり、本県開催予定であった北信越ブロック大会も中止となりました。その後、代替大会等開催の動きがあったものの、各部活動や農業クラブの

さて、我が国の農業を取り巻く課題の一つに、食料自給率の問題がある。食料自給率とは、消費される食料の国内生産によって供給される割合であり、自給率にはカロリーベースと生産額ベースがあるが日本では一般にカロリーベースが使われることが多い。日本の食料自給率は、昭和四十年（一九六五）には七三%あったが、平成元年度（一九八九）に五〇%を切り、平成十年度（一九九八）に四〇%になり、近年では三九・三七%で推移し、令和元年（二〇一九）は三八%となっている。ほかの先進国に比べると日本の食料自給率は最低水準となっている。食料自給率（二〇一七）のトップはカナダで二五・五%、オーストラリアが二三・三%、アメリカ・フランスは二三・〇%を超え、ドイツが九五%、イギリスが六八%である。

我が国の食料自給率の低下の背景活動も一変しました。皆様もご承知のように、日本国内全体が「新しい生活様式」に沿いながら、日々の生活を含めて対応しなければならぬ社会となっていました。この時、学校としてどのような教育活動を行っていくのか、まず第一に考えなければならなかったことは、生徒の「命を守る」こと。そのうえで、何ができるか、何をしなければならぬのかを考えました。その結果、細かいところでは、全校生徒を集めての各種式典や集会も、最大、各学年別集会が限界となり、昼食にしても、今までのような談笑しながらの食事は一切禁止、教室内自席で全員前を向いて個々に黙々と食事をとるの事になりました。また、学校行事についても、その目的を含め形式ではなく本質的な内容について検討をしました。一年生の修学旅行は来年六月に延期。文化祭についても、模擬店やクラス企画など例年通りの開催は断念し、ステージ企画のみ文化的行事として十二月に松任文化会館で改めて実施することにしました。いずれも、考えに考え抜いて下した苦渋の決断でありました。例年、数多くの成果を出していた

には、食生活が変化して米の消費量の減少、輸入飼料に依存した畜産・酪農の発展、油脂類の消費拡大、食の外部化と食品産業の発展、農家戸数の減少、農地の転用や耕作放棄地の増大、担い手の高齢化などが影響している。国の食料・農業・農村基本計画（平成三十年）では、食料自給率の目標を当面の実現可能性を考慮して令和十二年度（二〇三〇）に供給カロリーベースで四五%と設定されている。以前からも四五%目標を掲げてきているが、二〇二〇年間四〇%を切っている状況であり憂慮される。今後、もし異常気象等による大凶作や突発的な事件・事故、輸出国における輸出規制、地球環境の悪化、石油資源の枯渇などの事態が発生し、食料の輸入が途絶えると食料不足の危機に遭遇することになる。食料の安定供給を確保するために、農業クラブの大会についても、先に述べたように全国大会静岡大会とその予選である北信越ブロック大会石川大会が中止となりました。県連大会については、全国大会が中止となったこともあり、予選として開催する必要がなくなりました。感染防止の観点からいえば、中止すべきの考えもありましたが、ここで実施しない、これまで積み上げてきた活動・学習・研究の成果等が残らなくなってしまう、次に繋がっていかなくなると思われました。どのようにしたら、安全に実施できるのかを考え、様々な検討の結果、まず、実施時期を従来の全国大会開催時期以降に大幅にずらし、準備の時間をしっかりととること。また、発表大会については、従来の一堂に会しての発表大会でなく、初の試みとして、各学校で発表を録画したものでビデオ審査する形式としました。今年度の活動を途切れさせず、最低でも現状を維持し、次年度につなげていく、そんな思いで今年度の県連大会を開催することにしました。十月二十日は農業鑑定競技大会を実施することができました。この

農林水産省では優良農地や農業用水の確保、農業の担い手育成・確保、農業技術の開発・普及を図り、食料の供給力を強化する政策や適切な農業経営安定政策、安定的な輸入の確保、適切な食料備蓄、食品の安全性の確保などを実施しているが、今後、一層の充実が求められている。

食料自給率向上のためにたとえ小さなことでも私たち一人一人が、旬の食べ物を選ぶこと、地元でとれる食材を選ぶこと、ご飯を中心に肉や油を控えた野菜たっぷりの食事をすること、食べ残しを減らすことなどに取り組むことが大切である。

最後になりますが、この三月、翠星高校を卒業された皆さんの六星同窓会への入会を心から歓迎するとともに、母校の発展と同窓会会員の皆様へますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

食品科学コース

教育機関初

「JFS-B規格」適合証明合格！

翠星高校 HACCP チームマネジメント責任者

食品科学コース 教諭 西前 辰郎

二〇二一年五月

三十一日に改正食

品衛生法の猶予期

間が終わり、「HACCPに沿った衛生管理」が全ての食品事業者

に完全義務化

となります。HACCPがスタンダード

となる中、本コースを卒業した生徒達が今後

食品関連企業で活躍するため、令和元年度

から「JFS-B規格」適合証明合格を目標とし、HACCP導入に取り組んできました。

「JFS-B規格」とは国内の大手

食品メーカーなどで組織される食品安全マ

ネジメント協会(JFSM)が運営する規

格で、「HACCP7原則12手順」を含む

食品安全に関わる要求事項で構成されてい

ます。

令和二年十月に本監査を受け、本校の

人気商品「翠星クッキー」と「はくさん

米粉クッキー」が適合証明合格となりました。

国内教育機関初の合格でした。私

自身 HACCPとは何か全く分からない

状態でスタートし、生徒を引っ張らねば

ならず、雲をつかむような思いで不安で

一杯でした。苦難の連続でしたが、石川

県予防医学協会のお力をお借りし、食品

科学コース教職員・生徒達が一丸となっ

て成し得る事ができました。最後になり

ましたが、本監査の実施にあたり、六星

同窓会から多大なご支援を賜りましたこ

とをここに感謝申し上げます。これから

も生徒とともに適正な衛生管理を実現さ

せ、地域に必要とされる高校であり続け

られるよう、努力する所存であります。



適合証明書



適合証明書と HACCP チーム



はくさん米粉クッキー (研究会)



翠星クッキー (コース)



食品科学コース

HACCP (ハザップ) とは

食品の製造工程で食中毒や異物混入などの健康被害が起こる可能性のある部分を特定し、継続的に監視して製品の安全性を確保する衛生管理手法のこと。

令和二年度

越馬徳治科学教育研究奨励 奨励賞受賞

「世界レベルの衛生管理」を身につける実践的教育システムの構築

「教育機関初「JFS-B規格」適合証明合格」

石川県立翠星高等学校

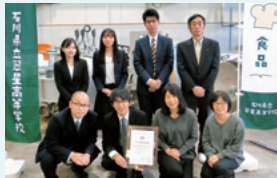
総合グリーン科学科

食品科学コース

教諭 安川 三和

教諭 西前 辰郎

教諭 川端 伸



食品科学コース教員一同



食品安全マネジメント協会 (JFSM) による本監査の様子



HACCP クッキー製造の様子

生徒考案 「恋つゝみ」が全国優勝！

食品科学コース教諭

安川 三和

令和元年九月、食

品科学コースに和菓

子班が発足しました。

そのきっかけは「和

菓子職人が不足している」という和菓子店

を営む卒業生の声でした。調査してみると、和菓子への興味関心は洋菓子と同程度

あるとわかりました。希望者で和菓子班を

結成し「卒業生に紅白饅頭を贈ろう！」を

目標に和菓子製造技術の習得に励みまし

た。

令和二年度。活動の発展として「第十一

回全国和菓子甲子園(主催：全国菓子工業

組合連合会)」に挑戦しました。生徒と休

校中から案を練り、テーマ青春から「恋

つゝみ(こいつつみ)」を完成させました。

「恋つゝみ」は白山市の白山比咩神社で行

われている恋愛成就のイベント「恋奉

納」にあやかり、県産のイチゴやユズ、加

賀棒茶の餡を羽二重餅で包み、巻物のよう

な見た目に仕上げ「赤い糸」で結んだ菓子

です。令和二年十月二十一日に行われた最

終決戦で全国二四校・六一作品の中から味

やネーミング、企画力などが高く評価され

見事優勝！本校・石川県勢・北信越勢とし

ても初優勝の快挙でした。その反響は大き

く、新聞三社及びNHK金沢放送局とMR

O北陸放送局のニュースで特集され、県

から文化優秀賞も頂きました。さらに、二

月に地元和菓子店から商品化及び白山市の企

画で発売記念イベントが開催されました。

生徒と地域の手で作り上げた「恋つゝ

み」。当地菓子として末永く地元を盛り

上げて欲しいです。和菓子班の活動を続け、



恋つゝみ



食品科学コース 課題研究「和菓子班」 31H巧ヒカリさん、22H小西愛美さん

本校から伝統を引き継ぐ和菓子職人が生まれることを願っています。最後になりますが、活動に協力してくれた金田先生をはじめとする食品科学コースの先生方、惜しみなく技術指導して下さいました卒業生の和菓子職人松浦さんに感謝申し上げます。 ※「恋つゝみ」について、詳しくは本校ホームページをご覧ください。

石川県文化優秀賞授賞

令和三年一

月二十六日に

石川県庁にて

石川県文化優

秀賞の贈呈式

が行われまし

た。谷本知事

より表彰状と

記念品をいた

だきました。



谷本知事より贈呈

食品科学研究会 大臣賞受賞！

食品科学研究会は、農産物加工品の研究開発・製造販売の知識と技術を活かし、平成二十四(二〇二二)年に「模擬株式会社 SUISEI FACTORY」を設立。六次産業化推進・地産地消による地域振興

を目的とし、地域生産者の所得向上や就農者増加に貢献するため、加工品の開発だけでなく生産者に寄り添った事業プランを行政や企業に提案するなど、六次産業化コンサルタントの役割を担ってきました。これらの活動が認められ、「令和二年度地産地消等優良活動表彰 教育関係部門」で文部科学大臣賞を受賞しました。表彰式は令和三年二月十二日にオンライン開催されました。



食品科学研究会部員



高校を卒業して

昭和六十年年度卒 農業科 山口 忠和

私が旧松任農業高校を卒業したのは昭和六十一年の春です。卒業してはや三十五年が経ちました。卒業をした私は、所有地三haの兼業農家を継げばよいのだろうと軽く考えていました。私が一歳半のときに父が亡くなり、母が中心で農業を営んでいた我が家でしたが、「専業で農業しないか?」「田んぼをやめていく人の受け皿にならないか?」と町内の先輩から声がかかり、三十二歳の時に会社を辞め、専業で農業をすることにしました。町内の営農組織では

大豆の受託や稲刈りをし、自作地では転作のブロッコリーを作り一年が経ち、確定申告のとき完全にすねかじりに戻りました。三十二歳で、すねかじりです。それも三歳と〇歳の二人の子供をそだてなければならぬのに。専業農家というにはほど遠い現実でした。二年目は早生の刈取後の田んぼにブロッコリーの作付け、ほかの耕作者の田んぼも貸してもらいました。無事出荷はできたものの、機械の購入や資材費で二年目も赤字。その後ラジコンヘリでの農業散布のオペレーターなどに参加させていただき、すねかじりからやつと抜け出せました。約五年かかりました。たくさんの方々にも色々なことを教えていただき、支えられて生きてきた五年間だったと思います。

あの時、三歳だった長男は翠星高校を卒業し、タキイ研究農場付属園芸専門学校園芸本科、専攻科を卒業、農業を頑張っています。〇歳だった長女も翠星高校を卒業し、国際ビジネス学院スーパースーツ調理専門学校（現在は国際調理専門学校）を卒業し食に関する仕事をしています。

現在は約十五haの作付け面積で、水稲、大豆、カボチャ、キャベツ、ブロッコリー、オクラその他約三十種類の野菜を栽培しています。まだまだこれから我が家ですが、感謝を忘れず家族みんなの魅力がある農業を目指して、今後も頑張っていきたいと考えています。

最後になりましたが、六星同窓会の益々の発展と御多幸を心よりご祈念申し上げます。



人と緑の橋渡し

平成二十年年度卒 総合グリーン科学科 鉄車 元志

同窓生の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

私が翠星高校を卒業し早いもので二年の月日が経ちました。大学進学後、現在の能美市の株式会社花造園にて現場作業員として働いております。主な仕事の内容は法人・個人のお客様の緑地の他、地域の公共施設の緑地管理、造成工事等をしております。会社の創始者を始め、従業員のほとんどが旧松任農業高校や翠星高校の卒業生であるため、改めて我が母校の深い歴史を感じることもおかげ様で気がねなくのびのびと働いています。

入社して七年目になりました。難しい仕事も任せられるようになりました。仕様書通りに作業をこなすのに四苦八苦したり、後輩への指示、指導に振り回されたりと忙しい毎日を送っております。自身のスキルアップのために資格取得のチャレンジもめげずに毎年取り組んでいます。

今まであらゆる緑地を見てきましたが、近ごろ緑化の維持管理にお金をかける方が少なくなっているように感じます。改修を加えられず敷化している緑地をいくつも見てきました。またお客様に緑を楽しんでいただけるようにするためには通年の手入れだけでなく少しずつ改修を行っていかなくてはなりません。

思わず緑地に出なくなるような、触れなくなるような、そしていずれば手入れもしたくなるような、そんな人と緑の橋渡し役になれるよう日々心がけながら仕事を続けています。



和菓子甲子園優勝までの軌跡

平成二十七年年度卒 総合グリーン科学科 金田 侑也

翠星高校を卒業して、六年が経とうとしています。卒業後は教員を目指し南九州大学へ進学し、現在は母校の翠星高校で臨任講師として勤めています。教員は「人を育てる」ことが仕事です。経験の浅い私ですが、この人を育て社会に貢献したいという思いのもと精一杯努力・精進しております。

翠星高校に勤めて二年目の私は現在食品科学コースに所属しています。昨年度より、科目「課題研究」にて和菓子を担当しています。初体験が多く戸惑いもありましたが、翠星高校の卒業生で、現在は白山市に本店を置く「菓子処大松庵」松浦社長に技術指導を、安川教諭に生徒指導をご教授頂きました。担当初年度は、食品科学コースの卒業生にお祝いの品として紅白饅頭を贈りました。そして、二年目には第十一回全国和菓子甲子園に初出場ながら優勝という貴重な経験をさせて頂きました。

和菓子甲子園に携わり、自分一人では何もできないことを強く感じました。和菓子の製造技術・プレゼンテーション指導など二つひとつの物事について、生徒の頑張りや先生方、地域の方々のご支援があつて、成果に結びつくだと学びました。未熟な私は、生徒を全力でサポートすることで一杯でした。今年度の経験を生かして、来年度以降も様々なことに挑戦する生徒をサポートしたいと考えています。ご指導頂いた安川教諭をはじめ、多くの先生方、そして同窓生の繋がりが感じさせて頂いた松浦社長に感謝申し上げます。

最後になりましたが、今後も生徒指導を通じ、翠星高校並びに六星同窓会の益々の発展のため尽力していきます。



支部だより

関東支部

昭和三十六年卒

東 建路

令和二年度総会を十一月に開催予定がコロナ感染拡大により中止となりました。

この為、支部規約に基づき会員に「書面決議書」により、総会中止と年間経過、会計監査各報告、本年度の予算案等と副支部長吉本忍氏選任の議案の賛否を求め、会員三〇名中二八名の賛成を得て総会は成立しました。会員に結果報告と年間の活動写真集及び六星だより等を同封して周知しました。

支部活動は令和元年十一月の総会（前号既報）、同一年一月の気軽一杯の会及び六月の持回り役員会で小林好晴支部長が長期病気療養に伴い、支部長代行に越村進氏を選任し就任しました。現時点迄、前述以外の定例行事五件はすべて中止となっています。

コロナ禍が早期に終息し会員の元氣な笑顔で会えることを期待しております。



関西支部

昭和三十二年度卒

松永 潔

令和二年度関西支部の総会を十月十七日（土）に梅田グランヴィア大阪「なにわ食採しずく」開催でご案内状を発送いたしました。予想に反して新型コロナウイルス感染の第三波が早くから始まり会員のご健康を考え急遽、中止のご案内を発送いたしました。

令和二年度は役員会も中止し、「収支決算書」は役員の方々に書類を発送しご確認、承認をいただき総会資料を作成することができました。

毎年一月実施している新年会も新型コロナウイルスの異常な状況の為中止いたしました。

会員の皆様はお会いできる日を楽しみにしております。お元氣なご様子で安心している次第です。

本部より送っていただきました「六星だより」は会員の方々に郵送いたしました。早く平穏な状況になり皆さんと明るく元氣なひと時の場を令和三年度の総会を皆様とともに開催したいと思っております。

東海支部

昭和三十七年卒 猿渡 孝之（旧姓加成）

毎年五月末日に東海支部の総会を開催してきましたが、今回第十九回目の総会は残念ながら中止といたしました。

会員の高齢化に伴い、新型コロナウイルスという原因不明のウイルスの猛威に負け、中止としました。

金沢支部

昭和四十七年度卒

窪 正之

令和二年度六星同窓会金沢支部の総会は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止とさせていただきます。

横断幕と看板を

寄贈していただきました

生徒たちの活躍に対し前田勝紀様（金沢支部）より左記を寄贈頂きました。ありがとうございました。

- 令和元年度 ①横断幕一式
- 令和二年度 ②横断幕一式
- ③看板二枚



②令和二年度寄付横断幕（下段）



③令和二年度寄付看板2枚（東門に設置予定）



①令和元年寄付横断幕（下段）

事務局だより

《本部》

【会計監査】

令和二年五月二十九日（金）翠星高校

【総会】

中止とし、書面決議にて実施

《支部総会》

金沢支部総会

中止

東海支部総会

中止

関西支部総会

中止

関東支部総会

中止